

PTA 新年懇親会 校長あいさつ

今年も宜しくお願いします。能登半島では多くの方が避難生活を送っており、自己責任ではなく、公共の大切さに気づかされました。さて、私は2つお話しします。

1, 「私学の授業料無償化」が大きく動いたことです。これは長年の公費助成運動の成果。昨年 12/5 東京都が年収 910 万円の所得制限撤廃を表明し、「私立校を含め全ての高校授業料無償化の方針を固めた」という報道がなされました。しかし隣接県から東京都に通う生徒さんには適用されません。「東京だからできる」との声もありますが、東京だけ良ければいいではなく、「自治体間格差の是正を」と国に対して声をあげる必要があります。また、学校への経常費補助も増やしてもらおうよう、公費助成部の署名活動を中心に働きかけ、教育環境を良くする運動を続けましょう。

2, 「子どものからだと心」

お子さんの不調が気になっていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか？「すぐ“疲れた”と言う」「朝起きられない」「夜寝れない」「背中がグニャグニャしている」「授業中じっとしてられない」などの不調です。NGO子どものからだと心 連絡会・議長であり日本体育大学教授 野井真吾先生は、子どものからだと心が発する危機(クライシス)は、人類史上初の難局ととらえています。いろんな職種の人が集って議論し、科学的データに基づく3つの提案をしています。興味深いのでご紹介。

① 「光・暗闇・外遊び」が眠りのホルモンであるメラトニンを促します。

昼間は太陽の光を取り入れ、夜は電球を減らし ちよつとできることから始めましょう。

② ワクワク・ドキドキ感が「前頭葉の発達」を促します。

心は脳前頭葉にあります。暮らしの中で、昼間子どもらしく夢中になれるような仕掛けを。

③ 「よい加減」のススメ 子どもだけではなく私たち大人も楽しみ・のんびり・輝きながら「よい加減」を探求するのも大切。以上

1「光・暗闇・外遊び」 2「ワクワク・ドキドキ」 3「よい加減」のススメです。

私達も野井真吾先生のように、子どもの現実から議論し、みんなで難局を乗り切っていきましょう。PTA 活動を通じてつながり、生徒の声を聴き、生徒、保護者・教職員の三者でよりよい環境をつくりましょう。

最後に、1日も早く能登に日常が戻ることを祈念し、年頭のご挨拶といたします。